

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和2年10月～12月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	23.0	21.3	55.7	△ 32.8	40.3	25.8	33.9	6.5	13.1	27.9	59.0	△ 45.9
2 採算	13.6	35.6	50.8	△ 37.3	21.7	56.7	21.7	0.0	12.1	41.4	46.6	△ 34.5
3 仕入単価	26.2	68.9	4.9	21.3	18.0	77.0	4.9	13.1	8.2	83.6	8.2	0.0
4 従業員数					6.7	91.7	1.7	5.0	6.8	88.1	5.1	1.7
5 資金繰り					5.3	68.4	26.3	△ 21.1	7.0	61.4	31.6	△ 24.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		14.5	40.3	45.2		-30.6		24.2	43.5		30.6	-6.5		3.2

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	59.7	6.5	6.5	72.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	1.6	8.1	14.5	24.2
2 大企業進出による競争激化	1.6	6.5	1.6	9.7	9 取引条件の悪化	0.0	4.8	4.8	9.7
3 製品・商品単価の下落	3.2	1.6	4.8	9.7	10 事業資金の確保難	4.8	6.5	4.8	16.1
4 原材料高及び不足	3.2	6.5	6.5	16.1	11 需要の停滞	4.8	27.4	8.1	40.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	3.2	1.6	4.8	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	11.3	4.8	3.2	19.4	13 その他	8.1	4.8	3.2	16.1
7 人件費の増加	0.0	8.1	8.1	16.1	無回答	1.6	11.3	32.3	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《製造業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況 (%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	0.0	33.3	66.7	△ 66.7	77.8	11.1	11.1	66.7	33.3	22.2	44.4	△ 11.1
2 採算	0.0	22.2	77.8	△ 77.8	55.6	22.2	22.2	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
3 仕入単価	11.1	77.8	11.1	0.0	0.0	88.9	11.1	△ 11.1	11.1	77.8	11.1	0.0
4 従業員数					25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	62.5	12.5	12.5
5 資金繰り					14.3	71.4	14.3	0.0	12.5	62.5	25.0	△ 12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況 (%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	33.3	66.7		△ 66.7		11.1	33.3		55.6	△ 44.4		12.5

2、経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	77.8	0.0	11.1	88.9	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	44.4	44.4
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	11.1	11.1	22.2
3 製品・商品単価の下落	11.1	0.0	0.0	11.1	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	0.0	55.6	0.0	55.6
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	11.1	0.0	11.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	11.1	0.0	0.0	11.1	13 その他	0.0	0.0	11.1	11.1
7 人件費の増加	0.0	11.1	11.1	22.2	無回答	0.0	11.1	11.1	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 売上の減少に伴い、現場の人材（人手）が余る状況。
- ・ 新型コロナウイルスによる大型イベントの中止が大きく影響している

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	37.5	37.5	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	25.0	62.5	△ 50.0
2 採算	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	62.5	37.5	△ 37.5
3 仕入単価	12.5	87.5	0.0	12.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
4 従業員数					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	87.5	12.5	△ 12.5
5 資金繰り					0.0	87.5	12.5	△ 12.5	0.0	87.5	12.5	△ 12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	62.5	12.5		12.5		37.5	37.5		25.0	12.5		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	50.0	0.0	0.0	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	25.0	0.0	25.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	12.5	12.5
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	0.0	12.5	25.0	37.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	37.5	37.5	0.0	75.0	13 その他	12.5	0.0	0.0	12.5
7 人件費の増加	0.0	12.5	25.0	37.5	無回答	0.0	12.5	37.5	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 新築などの大型工事が少なく、リフォーム工事が中心となり売上高が減少している。
- ・ 他分野進出を考えているが、資金、人手不足の為思うようになっていない。
- ・ 新型コロナウイルスにより緊急事態宣言が出ている地域ではリフォーム業界も停滞しているが、出雲・松江は感染者が少なく、旅行に行けない方が家での快適さを求めてリフォームを検討される方が増えている。

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	33.3	27.8	38.9	△ 5.6	31.6	21.1	47.4	△ 15.8	10.5	31.6	57.9	△ 47.4
2 採算	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	10.5	73.7	15.8	△ 5.3	10.5	42.1	47.4	△ 36.8
3 仕入単価	33.3	61.1	5.6	27.8	26.3	68.4	5.3	21.1	15.8	78.9	5.3	10.5
4 従業員数					5.3	94.7	0.0	5.3	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り					5.3	78.9	15.8	△ 10.5	15.8	68.4	15.8	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		15.8	47.4	36.8		-21.1		22.2	61.1		16.7	5.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	47.4	10.5	5.3	63.2	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	10.5	10.5	21.1
2 大企業進出による競争激化	5.3	0.0	5.3	10.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	5.3	5.3
3 製品・商品単価の下落	0.0	5.3	10.5	15.8	10 事業資金の確保難	10.5	5.3	5.3	21.1
4 原材料高及び不足	0.0	15.8	5.3	21.1	11 需要の停滞	10.5	21.1	0.0	31.6
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	5.3	0.0	5.3	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	10.5	0.0	10.5	21.1	13 その他	15.8	10.5	5.3	31.6
7 人件費の増加	0.0	10.5	10.5	21.1	無回答	0.0	5.3	26.3	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 出控え多く、セール効果期待薄い。
- ・ 影響はそれなりに感じている。予約のキャンセルや縮小により注文数の減少。今のところプラスはない。今後は見守るしかない。
- ・ 電材卸業界においては低価格化に走っている一部の業者を除き、全般的に売上は減少している。
- ・ 一般企業の受注は停滞気味。コロナ対策用品は輸入製品が多い為価格変動、商品切れがある。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	28.6	14.3	57.1	△ 28.6	42.9	35.7	21.4	21.4	15.4	23.1	61.5	△ 46.2
2 採算	15.4	23.1	61.5	△ 46.2	7.1	64.3	28.6	△ 21.4	15.4	30.8	53.8	△ 38.5
3 仕入単価	35.7	64.3	0.0	35.7	21.4	78.6	0.0	21.4	7.1	85.7	7.1	0.0
4 従業員数	/	/	/	/	7.1	92.9	0.0	7.1	7.1	92.9	0.0	7.1
5 資金繰り	/	/	/	/	7.7	61.5	30.8	△ 23.1	0.0	57.1	42.9	△ 42.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		21.4	42.9	35.7		-14.3		50.0	21.4		28.6	21.4		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	57.1	7.1	7.1	71.4	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	7.1	0.0	7.1
2 大企業進出による競争激化	0.0	14.3	0.0	14.3	9 取引条件の悪化	0.0	7.1	0.0	7.1
3 製品・商品単価の下落	7.1	0.0	0.0	7.1	10 事業資金の確保難	7.1	14.3	7.1	28.6
4 原材料高及び不足	7.1	0.0	14.3	21.4	11 需要の停滞	0.0	21.4	14.3	35.7
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	7.1	7.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	7.1	0.0	0.0	7.1	13 その他	7.1	0.0	0.0	7.1
7 人件費の増加	0.0	7.1	0.0	7.1	無回答	7.1	21.4	50.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ ネット通販の需要が激増しているので強化している
- ・ お客様の来店周期が昔より長くなっていると思う
- ・ 雇用調整助成金がなくなると、雇用の維持は難しい。GoToが動くと、状況は良くなると思う。
- ・ 県内、特に出雲市内で新規感染者が出ると一時的に予約が減る。その後お客様が集中した時、感染対策がしっかりとできるよう心がけたい。

《飲 食 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				前期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年10月～12月期)の状況				今期(令和2年10月～12月期)と比べた 来期(令和3年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	8.3	0.0	91.7	△ 83.3	25.0	25.0	50.0	△ 25.0	0.0	33.3	66.7	△ 66.7
2 採算	9.1	9.1	81.8	△ 72.7	30.0	30.0	40.0	△ 10.0	0.0	44.4	55.6	△ 55.6
3 仕入単価	25.0	66.7	8.3	16.7	27.3	63.6	9.1	18.2	0.0	81.8	18.2	△ 18.2
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	90.9	9.1	△ 9.1	10.0	80.0	10.0	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	40.0	60.0	△ 60.0	0.0	25.0	75.0	△ 75.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		8.3	16.7	75.0		-66.7		0.0	58.3		41.7	-41.7		8.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	75.0	8.3	8.3	91.7	8 設備店舗の狭小・老朽化	8.3	16.7	25.0	50.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	8.3	0.0	8.3
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	8.3	8.3	10 事業資金の確保難	0.0	8.3	8.3	16.7
4 原材料高及び不足	8.3	8.3	8.3	25.0	11 需要の停滞	8.3	33.3	8.3	50.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	0.0	0.0	0.0	13 その他	0.0	8.3	0.0	8.3
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	0.0	8.3	33.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 雇調金がでなくなったら、やっていけないと思う。さらに延長してほしい。
- ・ 現在コロナの影響でかなり深刻。この先も営業していくことを考えると、春の緊急事態宣言時より深刻に感じる。
- ・ コロナ禍が落ちつくまではがまんの経営
- ・ このままの状況だとこれ以上打つ手がない。